

「測量CPD」マニュアル（標準）

（ Continuing Professional Development for Surveyors ）

昨今の測量技術は、科学技術の急速な進展に伴い、地上から宇宙までの空間情報等の計測と利活用を扱う専門技術へと進化しております。この空間情報の整備等に携わる測量技術者の責任はますます重大であり、時代に即した能力の維持および向上に資するための自己研鑽はますます不可欠なものとなってきております。測量技術者は、常に技術者としての誇りと品格を保ち、自己の資質と技術の向上に努め、社会に貢献することが必要であります。

近年、継続教育（ Continuing Professional Development : CPD ）の名の下に、各種技術者の教育においては相互認証の動きが各団体で活発に行われつつあり、資格取得後も能力を維持し、新しい時代の要請に応えるための継続学習が重要であるとの認識が広がってきております。

技術者の技術力は、各人の知識と経験によって支えられています。知識は学校教育による学歴と各種資格の取得、さらに実社会に出てからの自己研鑽による学習等によって、経験は実社会における実務経験によって培われます。すなわち、技術者の技術力は、学歴・資格取得、継続教育、実務経験の3本の柱によって支えられています。

学歴は卒業証明書によって、資格は測量士・測量士補・土地家屋調査士等の登録証明書や地理空間情報専門技術（旧：測量専門技術）認定制度の認定証明書等によって、また、測量の実務経験や実績は、TECRISによって、社会的に評価されています。

しかしながら、継続学習については、平成13年から日本測量協会が部分的ではあるが実施したものの、広く社会に認知されるには至りませんでした。また、測量・地図関係に関する研修・講習は諸団体において数多く実施され、測量技術者はそれぞれが自己研鑽に努めており、個々に受講修了書等により証明されるものの、これを総合的に評価・証明するシステムはありませんでした。

このことを背景に平成16年に測量・地図関連の学協会等の団体で構成される「測量系CPD協議会」を発足させ、関係学会・団体で実施する全ての講習会等での学習履歴を共通の基準で評価し、測量技術者の自己研鑽による学習を一括管理することといたしました。（平成20年度から協議会へ全てを移行）

即ち、学習記録を学習単位（ポイント）をもって評価し、総合的な学習履歴を証明することによって、自己研鑽に努力する技術者を内外にアピールするものです。

測量系CPD協議会

事務局 日本測量協会 測量継続教育センター

〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-4

Tel 03-5683-3355 Fax 03-5684-3366

E.mail cpd@jsurvey.jp

URL <https://www.jsurvey-cpd.jp>